令和2年度　学力向上全体計画

甘楽町立福島小学校

関係法令等

＊学習指導要領
＊県・町教育行政方針
＊町の学校教育

学校教育目標

高い知性と豊かな情操、
たくましい意志を持ち、
心身ともに健康で
規律ある児童の育成

本校の課題

・全国学力・学習状況調査から、算数では２つの数量関係を図式化して考える力などで課題があるとともに国語では自分の考えを明確に表現するため，文章全体の構成の効果を考えることに課題が見られた。

具体目標

よく考え　心やさしい　元気な子

本校児童の課題と良さ

・文章を叙述に即して読む力が弱い。
・考えの根拠を明確にして自分が考えたり思ったりしたことを表現する力が弱い。
・言語についての知識や語句を解釈する力が不足している。
〇素直で学ぶ意欲が高い児童が多い。

目指す授業像

課題に対して既習事項を根拠に自分なりの考えをもち、それを表現するとともに友だちの考えの良さに触れながら考えを深めることができる授業

学校評価

・学校の重点課題把握
・課題解決のための取り組み
・家庭・地域への啓発と連携

学力向上委員会

具体的取組の検討

＜４つの視点＞
・教育課程の改善・充実
・教員の指導力向上
・指導体制の工夫・改善
・家庭・地域との連携

校内研修

・学校図書に関わる研修
・ユニバーサルデザインの考えに基づく授業改善
・各教員の授業改善や資質の向上を目的とした「ミニ研修」

取組の柱と内容

教育課程の改善・充実	教員の指導力向上	指導体制の工夫・改善	家庭・地域との連携
・言語活動の充実を図るとともに、指導内容を精選する。 ・CRTⅡの実施後に実態把握を行い領域別で正答率の低い領域については継続的な指導の重点化を図る。 ・取組の見直しと改善を行い、基礎・基本の定着と活用力の充実を図る。	・校内研修の中でもユニバーサルデザインの考えに基づいた児童が課題について思考・表現しやすい授業づくりを進め福島小スタンダード（問題提示→めあて→学び合い→まとめ→振り返り）の実践をする。 ・ノートの取り方、板書計画、基本的な話形について共通理解を図り、実践をする。	・授業中に困り感のある児童をピックアップし、「支援会議」で検討して、支援方法の改善や学校支援員等の効果的・弾力的活用を図る。 ・教科担当制の実施により、専門性を生かした魅力ある授業づくりを行う。	・「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の具体的な内容や方法について保護者と共通理解を図り、学校と家庭が一体となって学力向上に取り組む。 ・家庭学習を、原則学年×１０分と設定し、保護者に呼びかけ協力を得ながら児童の家庭学習習慣化の定着を促す。